

平成27年度

事業計画書

公益財団法人京都府公園公社

目 次

I	事業運営方針	1
1.	公益目的事業の推進	1～2
2.	公園管理の充実	2～3
3.	施設の有効利用	3
4.	経営基盤の強化	3
II	事業内容	4
	新規事業及び重点取組み項目への取組	4～5
1.	公益目的事業	5～13
(1)	スポーツ振興事業	5～9
1)	スクール事業	5～7
2)	障がい者支援事業	5
3)	自主活動支援事業	7
4)	イベント事業	8～9
	① スポーツの普及・振興を目的とした事業	8
	② 福島県との交流を目的とした事業	8
	③ 競技力向上の普及・啓発を目的とした事業	9
(2)	地域振興事業	9～10
1)	公園の賑わいの創出を目的に地域と連携した事業	9～10
2)	近隣の学校や地域、大学と連携した事業	10
(3)	緑化推進事業	11
(4)	施設貸与事業	12
(5)	施設運営事業	12
(6)	広報活動	12
(7)	モニタリング	13
2.	収益事業	13～16
(1)	収1事業	13～15
1)	収益施設貸与	13
2)	ファミリープールの管理運営	13～14
3)	駐車場の管理運営	14
4)	ロッカーの管理運営	14
5)	収益を目的としたスクール、イベント	14～15
(2)	収2事業	15～16
III	公社の組織	17

I 事業運営方針

京都府公園公社では、京都府における都市公園等の効率的な管理運営、公園緑化及びスポーツ・レクリエーション等に関する事業を通して、府民の健康で心豊かな生活の向上並びに地域振興に寄与するため「スポーツ振興事業」「地域振興事業」「緑化推進事業」を柱として事業展開を図っているところである。

一方、日本中が希望を膨らませ実現に向けた国民的取り組みであった東京オリンピック・パラリンピックが2020年に、また翌年2021年にはワールドマスターズゲームズが関西で開催されることが決定している。このビッグイベントを機会に府内のスポーツ・レクリエーション人口の拡大やアスリートの育成などの取組とともに、プレイベント開催により府民のスポーツ熱を盛り上げることを目的に、平成27年度から「スポーツ支援事業」を又プレイベントに向けて「スポーツ振興基金」を創設し、団体等への支援を進める。

1 公益目的事業の推進

(1) スポーツ振興事業

当公社スポーツ振興計画により、スポーツ環境の整備を通して、明るく活力に満ちた府民生活の実現、府民の健康づくりや豊かなスポーツライフの実現を目指す。

1) イベント事業

公園への来園がスポーツ活動へのきっかけづくりとなるため、公園の特性を生かしたイベントを関係団体との連携により実施する。

2) スクール事業

広く府民の方々が生涯にわたってスポーツに親しみ、健康づくりに取り組めるよう、多種目のプログラムを設定し、参加へのきっかけから自主活動の支援までを行う。

3) 競技力向上の普及・啓発を目的とした事業

① スポーツ支援事業

「競技スポーツ」「生涯スポーツ」「地域活性化スポーツ」をさらに推進するため、スポーツ団体等が山城総合運動公園や伏見港公園をフィールドとして各事業に取り組めるよう、当公社が資金や施設面において支援を行う事業を実施する。

② スポーツ振興基金

2020東京オリンピック・パラリンピック、2021ワールドマスターズゲームズに向け、スポーツの魅力を伝え、府民が夢・感動・勇気を共有できるような自主イベントを企画し、その財源となるスポーツ振興基金を創設する。

(2) 障がい者スポーツの利用促進

障がい者スポーツの普及・振興を図るうえではノーマライゼーションの利用環境を確保する必要があることから、本年度は新たにハード・ソフト両面での現状調査を関係団体等の協力を得て実施する。

(3) 地域振興事業

地域との連携・協働の拡充により、魅力ある公園づくりと地域の活性化につながる事業の展開に取り組む。

ア 山城総合運動公園関係

- ① 京都大作戦の開催（夏の野外コンサート）
- ② 緑のウォークラリー、第3回宇治・太陽が丘スイートリレーマラソン、グルメリレーマラソン、Color Me Radなどの実施
- ③ 地域の産業資源や観光資源との連携による「カルチャーカフェ」など文化事業の開催

イ 伏見港公園関係

地域の観光資源や産業資源との連携による伏見港まつり、伏見シティサイクル、伏見港マルシェなどの開催

(4) 緑化推進

自然ゾーンの手入れにより計画的な緑化を推進し、緑豊かな森への再生による魅力ある公園づくりを進め、自然とふれあう機会の拡充により健全な心身の育成を図る。

- ① 樹木等の種類や推定年齢など、新たに調査することにより現状の把握と公園に相応しい植樹計画の提案と計画的な植樹等の実施により利用促進を図る。
- ② 府民スポーツ広場に植樹し、自然環境の回復と日陰の確保を進める。

2 公園管理の充実

(1) 適切な運営管理

京都府から指定管理者として指定を受けた施設の適切な管理運営を行い、利用者に安心・安全で快適な空間と質の高いサービスを提供する。

- ① 大規模災害時の物資集積場所や被災時の避難収容場所に指定され、災害時における行政との連携を強化する。

京都府防災訓練・近畿2府7県合同防災訓練開催への連携強化に取り組む。

- ② 安心・安全な施設や施設老朽化に伴う改善・改修について、競技団体や利用者からの意見をまとめ、指定管理者として京都府への提案と協議を進める。
- ③ 公園施設の課題点の情報共有を進めるため、「公園管理システム」の導入に向けて検討する。

(2) 施設の有効活用

公園の施設と設備を有効に活用し、利用促進に努める。

- ① 施設の効率的・効果的かつ円滑な運営を図るため、施設利用調整基準を定め公平性・公共性・透明性を確保するとともに、山城（広場）と伏見の利用調整の一元化をさらに進める。
- ② スポーツ施設及び自然ゾーンの有効活用により幅広いサービスの提供を行い施設の利用効率の向上を図る。
- ③ 新設の陸上競技場照明設備を活用して利用時間の拡大と平日利用の促進を進める。
- ④ 大型物置やロッカー等の拡充により、各種大会での利便性の向上を図る。
- ⑤ プール未利用期間（10月～4月）の更衣棟（更衣室、温水シャワー、ロッカー）を開放し、利用者サービスの向上による利用促進を図る。
- ⑥ 公園ウエディングなど新しいニーズの公園利用を誘致して利用促進を図る。
- ⑦ 地域振興に係る事業や施設と自然ゾーンを融合したイベントの参画により利用促進を図る。

山城総合運動公園では135万人、府民スポーツ広場では11万人、伏見港公園では被災前の29万人の来園者を迎えるよう取り組む。

3 経営基盤の強化

充実した公益目的事業を行う財源を確保するため、公益目的事業とのバランスに配慮しつつ、イベント誘致や飲食物販におけるメニューの多様化、事務の簡素化、経費削減やコスト意識の徹底など組織・体制の再編・改善と収益事業の拡大に努め、将来にわたる安定的な経営（財政）基盤を確立する。

また、コンプライアンスの徹底や公園管理における知識や技能の向上に努めるとともに、運営ノウハウの継承と錬磨に努め、安定的に継続可能な組織づくりと人材育成に積極的に取り組む。

上記事業を着実に遂行し、府民からより一層信頼を得るよう公益法人としてふさわしい透明性の高い組織運営に努める。

II 事業内容

新規事業及び重点取組み項目

公園への来園がスポーツ活動のきっかけづくりとなるため、健康づくりとスポーツ人口の拡大及び生涯スポーツの推進を図ることを目的に新規事業及び重点取組み項目への取り組みを進めます。

山城総合運動公園

項 目		内 容
ジュニアの育成事業	重	・ジュニアテニススクールを育成スクールとして進める。 また、週2回コースの開催など継続的な活動に向けて取り組む。 今後もクラスの増設等の検討を進める。
	新	・バスケットボールスクールについて、太陽が丘ジュニアスクールからハンナリーズスクールへのステップアップ、及び中学部の増設や伏見港公園との連携による選抜チームの設立など、スキルアップに取り組む。
保育ルームの拡充	重	・週3日（7コース）から週3日（8コース）へ拡充 27年度予定114回 延べ680人 ・年4回の広報（新聞折込み）等による周知拡大 ・保育園、幼稚園など若い子育て世代への案内
ピジター制度の見直し	重	26年度実施した、ピジター参加の初回無料制度について、27年度は新規登録希望者に対して継続し、会員増に取り組む。
競技力向上	新	・ワールドカップサッカー、東京オリンピックの感動から2021 ワールドマスターズゲームに向けて、スポーツ人口の拡大とアスリートの育成に向けて取り組む。 「スポーツ支援事業」「スポーツ振興基金」
生涯スポーツの推進・拡充	重	・ニュースポーツの普及、拡充 ・京都府レクリエーション協会との連携による定期的なイベントの開催
	新	・スローエアロビックやノルディックウォーク、ヒップホップスクールの試行開催
イベント事業、競技会との関連事業	重	・トライアスロンスクール アクアスロン大会、講習会との関連事業として開設を検討。Swimについては、伏見港公園の施設と連携。
	重	・京都府に本拠地を置くプロ団体との連携事業 ・京都サンガF.C. ・京都ハンナリーズ ・京都女子プロ野球
地域との連携事業の拡充	重	・「太陽が丘カルチャーカフェ」の定着開催 ・公園の多機能化への取組
	新	・地元名産品や物産品のPRと地域コミュニティの場の提供（ファミリープールやフリーゾーンへの出店）

伏見港公園

項 目		内 容
プール事業の再開	重	・プール事業の再開に伴い、オープニングイベントの開催と広報の拡充を図る。 ・プール関連事業（水泳教室）の再開と充実を図る。
体操教室の拡充	重	・キッズ層の拡充により年代別スクールの開催 京都体操協会との連携を推進
生涯スポーツの推進・拡充	新	スローエアロビックの定期開催により、中・高年の健康維持と生涯スポーツの拡充を図る。

楽しむスポーツの拡充	重	・「スポーツを楽しむ日」「シニアスポーツデー」にニュースポーツの導入 京都府レクリエーション協会との連携により楽しめる種目の拡充に取り組む。
地域との連携事業魅力ある公園づくり	重	・「伏見シティサイクリング」の定期的な開催 伏見警察署、伏見区役所、観光協会、伏見商店街組合等との連携を推進
	重	・京都府伏見警察署と連携した「高齢者向け安全教室」の開催
	重	・「伏見港まつり」として春・夏・秋に開催予定 地元連携団体との連携により公園の賑わいの創出と地域力向上を図る。
中高年の健康増進	新	・中高年の健康づくり事業の拡充 京都市伏見保健センターと連携した「伏見げんき広場」の定期開催を計画する。

1. 公益目的事業

(1) スポーツ振興事業

当公社スポーツ振興計画により、スポーツ環境の整備を通して、明るく活力に満ちた府民生活の実現、府民の健康づくりや豊かなスポーツライフの実現を目指す。

公園への来園者がスポーツ活動のきっかけづくりとなるため、メニュー・プログラムは、広く府民の方々が参加できるよう多種多様なプログラムを設定し、きっかけから自主活動の支援までを行う。

1) スクール事業

だれもが、健康で明るく活力に満ちた生活を送ることができるよう、個々の目的に応じて日常的にスポーツに親しむことができる環境づくりを行い、スポーツの日常化に向けて取り組む。

- ① 幼児期から少年期（4歳～12歳まで）に運動能力や体力の向上を図るとともにスポーツの楽しさを体験できるよう「きっかけ」の場を充実させる。
- ② 中・高年のスポーツ活動では、健康の維持・増進とともに体調管理能力を養い健康長寿社会の実現に向けて環境の整備とプログラムの提供を行う。
- ③ 保育ルームの設置プログラムを今後さらに充実し、女性が参加しやすい環境づくりと参加ニーズの掘り起こしに力を注ぐ。

2) 障がい者支援事業（京都府受託事業：伏見港公園）

誰もが利用できる施設として障がい者も安心して活動できるスポーツの普及・振興を図るとともに、利用環境を確保する必要があることから、本年度は新たにハード・ソフト両面での現状調査を関係団体等の協力を得て実施する。

3) 自主活動支援事業

当公社が管理運営する公園をフィールドとして自主的に活動しているスポーツ団体等に対して、活動の場や情報の提供、相談など側面的な支援を行う。

○幅広い年齢層の方々の健康の増進を目的とした事業

開催場所	事業名	開催予定時期	回数
山城総合運動公園	テニススクール（月）	春・秋・冬	24
	新 テニスクラブ（月）	春・秋・冬	24
	テニススクール（水）（保育ルーム設置）	春・秋・冬	24
	新 テニスクラブ（水）（保育ルーム設置）	春・秋・冬	24
	テニス金曜日（保育ルーム設置）	春・秋・冬	24
	新 テニスクラブ（金）（保育ルーム設置）	春・秋・冬	24
	テニス（月-夜間）	春・秋・冬	24
	テニス（水-夜間）	春・秋・冬	24
	成人水泳（火）（保育ルーム設置）	春・秋	13
	成人水泳（金）（保育ルーム設置）	春・秋	13
	ヨガ	春・秋・冬	34
	バドミントン（保育ルーム設置）	春・秋・冬	29
	バレーボール（保育ルーム設置）	春・秋・冬	32
	エアロビクス（保育ルーム設置）	春・秋・冬	30
	新 ヒップホップスクール（試行開催）	春	・
伏見港公園	テニス教室（月）	春・秋・冬	24
	テニス教室（火-夜間）	春・秋	16
	らくらくヨガ教室	春・秋・冬	38
	シニアヨガ教室	春・秋・冬	38
	エンジョイ健康教室	春・秋・冬	36
	成人水泳教室（火-午前・夜間）	春・秋・冬	各34回
	はじめてスイム	通年	32

○児童の健全な育成を目的とした事業

開催場所	事業名	開催予定時期	回数
山城総合運動公園	陸上競技	通年	32
	ジュニアサッカー	通年	41
	ジュニアバスケットボール	春・秋・冬	36
	Jr. トライアスロン	通年	47
	ジュニア水泳（火）	春・秋	13
	ジュニア水泳（金）	春・秋	13
	ジュニア水泳 短期	夏2期	12
	キッズ水泳（火）	春秋	13
	キッズ水泳（金）	春秋	13
	キッズ水泳 短期	夏2期	12
	飛び込み 短期	夏	7
	親子テニススクール	春・秋	24
	おひさまクラブ	通年	11

開催場所	事業名	開催予定時期	回数
伏見港公園	幼児水泳教室（月）	春・秋・冬	34
	幼児水泳教室（金）	春・秋・冬	34
	少年少女水泳教室（月）	春・秋・冬	34
	少年少女水泳教室（金）	春・秋・冬	34
	ジュニアテニス教室（低学年）	春・秋・冬	32
	ジュニアテニス教室（高学年）	春・秋・冬	32
	ジュニアバレーボール教室	春・秋・冬	37
	ニガテチャレンジ教室	春・秋・冬	38
	体操教室（年少コース）	春・秋・冬	38
	体操教室（年中・年長コース）	春・秋・冬	38
	体操教室（小学生コース）	春・秋・冬	38

○中高年の健康の維持・増進を目的とした事業

開催場所	事業名	開催予定時期	回数
山城総合運動公園	さわやか健康（月）	通年	40
	さわやか健康（水）	通年	42
	シニアテニスクラブ	春・秋・冬	24
	シニアテニスクラブ 夏期短期	夏	5
	水中運動（25mプール）	春・秋	13
	ストレッチ&軽運動（保育ルーム新設）	春・秋・冬	40
	体と心の健康体操Ⅰ	通年	42
	体と心の健康体操Ⅱ	春・秋・冬	38
	新 スローエアロビック（試行開催）	・・・	3
府民スポーツ広場	グラウンド・ゴルフのつどい（火曜日・水曜日）	通年	72
伏見港公園	シニアアクア&ウォーク	春・秋・冬	32
	シニアテニス教室	春・秋・冬	24
	シニア健康教室	春・秋・冬	38
	シルバー水中運動	春・秋・冬	34
	シニア水泳教室	春・秋・冬	34
	新 スローエアロビック	春・秋・冬	・・・

○自主活動の支援を目的とした事業

開催場所	事業名	支援内容	開催予定時期	回数
山城総合運動公園	太陽が丘ジョギングクラブ	施設の優先利用 ミーティングルームの無償提供	通年	50
伏見港公園	伏見港公園登録テニス大会	施設の優先利用 登録クラブ協議会の運営サポート	5月・11月	4
	バレーボール大会	施設の優先利用 登録クラブ協議会の運営サポート	6月・11月	2
	バレーボール審判講習会	施設の優先利用	6月・2月	2
	バドミントン大会	施設の優先利用 登録クラブ協議会の運営サポート	11月	1
	グラウンド・ゴルフクラブ	施設の優先利用（無償提供） 登録クラブ協議会の運営サポート	春・秋・冬	43
	ゲートボール大会	活動場所の優先提供	春・秋・冬	9
	ラジオ体操をする会	ラジオ体操の指導と活動メニューの提供	春・秋・冬	36

5) イベント事業

① スポーツの普及・振興を目的とした事業

公園への来園がスポーツ活動へのきっかけづくりとなるため、公園の特性を生かし、気軽にスポーツ親しむことができるイベントを関係団体との連携により実施し利用促進を図る。

また、京都府内に本拠地を置くプロスポーツ団体との連携を深め、トップ選手やコーチとふれあう機会を拡充する。

開催場所	事業名	開催予定時期	回数
山城総合運動公園	親子ふれあいサッカー	5・10月	2
	アクアスロン講習会	7・8月	2
	太陽が丘アクアスロン大会	9月7日	1
	太陽が丘シニアテニス大会	秋	2
	クロスカントリーフェスティバル	秋	1
	スポーツカーニバル及び関連イベント	10月	1
	新 ノルディックウォーキング（試行開催）	秋	1
	ファミリープール内イベント	8月	1
	京都ハンナリーズ親子ふれあいクリニック	冬	1
	京都ハンナリーズウインターリーグ	冬	1
	京都ハンナリーズbjカップ	冬	1
	新 京都フローラふれあい野球教室	夏	1
	弓道体験会	通年	12
府民スポーツ広場	みどりが丘グラウンド・ゴルフ大会	5月	1
	みどりが丘グラウンド・ゴルフのつどい交流大会	6月・9月 11月・3月	4
伏見港公園	新 親子で楽しむニュースポーツ	夏	1
	アクアフェスタ	12月	1
	スポーツを楽しむ日	春・秋・冬	10
	障がい者水泳のつどい	春・秋・冬	10
	シニアスポーツデー	春・秋・冬	10

② 福島県との交流を目的とした事業

平成 23 年度から実施している福島県との少年サッカー交流は、昨年福島県から招待を受け相互の交流がさらに深まった。

- ・ 太陽が丘青少年サッカー交流フェスタ（7月22・23日予定：200名）

今後は、他のスポーツ種目での交流を目指して事業の拡充に取り組む。

③ 競技力向上の普及・啓発を目的とした事業

2020年 東京オリンピック・パラリンピックの開催と2021年にはワールドマスターズゲームズの関西での開催が決定しました。このビッグイベントを成功裏に収めるためにも府下のスポーツ人口の拡大やアスリートの育成などの取組とともに、プレイベント等の開催により府民のスポーツ熱を盛り上げるため、平成27年度に「スポーツ支援事業」及び「スポーツ振興基金」を創設し、団体等への支援を進める。

【スポーツ支援事業】

スポーツ団体等が積極的にスポーツの普及・啓発事業を積極的に実施できるよう資金や施設面において支援を行う。

平成27年度予定

- ・ソフトテニス国際大会
- ・ソフトテニス高校選抜大会
- ・年間を通しての強化練習

【スポーツ振興基金】

2020 東京オリンピック・パラリンピック、2021 ワールドマスターズゲームズに向け、スポーツの魅力を伝え、府民が夢・感動・勇気を共有できるような自主イベントの企画とその財源となるスポーツ振興基金を創設する。

(2) 地域振興事業

地域との連携・協働の拡充により、魅力ある公園づくりと地域の活性化につながる事業の展開に取組み、利用促進を図る。

また、地域振興・地域活性化に係るイベントや事業、地元観光事業者等連絡会議に積極的に参画し、地域社会への貢献度を高める。

① 公園の賑わいの創出を目的に地域と連携した事業

開催場所	事業名	開催時期	連携団体
山城総合運動公園	桜お花見&ライトアップ関連事業（お茶席等）	4月	京都府茶業会議所
	緑のウォークラリー	4月	宇治市、宇治市公園緑地課 宇治市植物公園 京都府宇治警察署 京都嵯峨芸術大学 日本折紙協会 など
	宇治市こどもまつり	5月	宇治市こどもまつり実行委員会
	京都府宇治警察署啓発事業	5月	京都府宇治警察署

開催場所	事業名	開催時期	連携団体
山城総合運動公園	レクリエーションフェスタ	5月・10月	京都府レクリエーション協会
	みどりの中 de ミニコンサート	4・5・9・10月	Forevef Folk in 宇治
	新 Forever Folk ピクニック in 太陽が丘	春・秋	宇治市福祉サービス公社 Forevef Folk in 宇治
	みどりの中で”遊ぶ芸術祭”	春・秋	京都嵯峨芸術大学
	京都嵯峨芸術大学 みどりの中でワークショップ	春・夏・秋	京都嵯峨芸術大学
	新 おりがみヒコークを飛ばそう	5月・10月・11月	日本折紙協会
	宇治市民スポーツまつり及び関連事業	10月	宇治市生涯学習課
	宇治川マラソン	2月	宇治市体育協会
	ファミリープール内紅葉観賞	11月	宇治市
	S L 見学会	5月	太陽が丘 S L 保存会 J R 宇治駅
	S L 見学会ミニ機関車の運行	5月・11月	京都府立田辺高等学校
	宇治太陽が丘スイートリレーマラソン	4月	宇治市土産物組合 宇治市観光協会
	京都ご当地グルメリレーマラソン	10月	京都府総合型地域スポーツクラブ 京都府体育協会
	新 Color Me Rad (ペイントランニング)	11月	ローソン、キョードー大阪
	重 カルチャーカフェ	各月	宇治市観光協会、城陽市観光協会 他
伏見港公園	重 伏見港まつり (コンサート・手作り市・朝市)	7月・10月・3月	地元農家、地元商店 伏見区役所、ビアーズンビアーズ
	伏見シティサイクル2015	4月	京都サイクリング協会 京都府伏見警察署・伏見交通安全協会・NPO法人伏見観光協会 乃木神社・御香宮神社 月桂冠(株)・JAF京都支部 京都府レクリエーション協会 京都府自転車競技連盟
	重 高齢者向け安全教室	..	京都府伏見警察署 交通安全協会
	伏見観光ウォーク(十石船乗船など)	10月	京都教育大学 NPO法人伏見観光協会
	新 プールリニューアルイベント	4月5日・19日 25日・26日	伏見区役所、NPO法人伏見観光協会 他

② 近隣の学校や地域、大学と連携した事業

開催場所	事業名	開催時期	学校名
山城総合運動公園	職場体験学習	春・秋	西小倉中学校 西宇治中学校 東城陽中学校 田辺中学校 菟道第二小学校 など
	インターンシップ	夏	びわこ成蹊スポーツ大学 大阪体育大学
伏見港公園	職場体験学習	春・秋	神川中学校 小栗栖中学校 向島中学校 開晴中学校 など

(3) 緑化推進事業

計画的な緑化を推進し、緑豊かな森への再生による魅力ある公園づくりを進め、自然とふれあう機会の拡充により健全な心身の育成を図る。

さらに、親子のふれあいや緑化推進、自然観察など気軽に参加できるイベントを関連団体との連携事業の拡充により進める。

- ① 樹木等の種類や推定年齢などを新たに調査し、現状の把握と公園に相応しい植樹計画の立案と計画的な植樹等により利用促進を図る。
- ② 公園オフィシャルサプライヤー制度の導入により、樹名板の設置や植樹など府民参画の公園づくりに取り組む。
- ③ 山城総合運動公園で成長した苗木を利用団体などとともに府民スポーツ広場に植樹し、自然環境の回復と日陰の確保を進める。
- ④ 山城総合運動公園では、公園の約半分を占める自然林の環境を整備することで、生息する数多くの野鳥や飛来する渡り鳥が生息する環境を守る。
- ⑤ 京都SKYセンター、フォレスターうじ、公園ボランティア、京都野鳥の会などとの協働による「緑の活動」を進めており、団体間の連携を深めたパークマネジメントを推進する。
- ⑥ 伏見港公園は京都市の南西部に位置し総面積は3.74ha、隣接する「伏見みなと公園」と一帯で府民の憩いの場となるよう、公園緑化の推進と緑化の啓発を行っていく。
- ⑦ エコキャップ活動（H.25年9月から55,040個64人分のワクチン）への参加などによるゴミのリサイクル化と社会貢献事業を推進する。

○緑化の推進と啓発、自然との触れ合いを目的とした事業

開催場所	事業名	開催予定時期	回数
山城総合運動公園	小枝のクラフト	4・5・9・10・11月	8
	エコクラフト	8月	1
	新 落ち葉をあつめてほくほく焼き芋！	2月	1
	ツリークライミング	5月・6月・10月	3
	探鳥会	5月・9月・3月	3
	水生昆虫を調査	5月	1
	緑化のつどい	10月	1
	緑の活動	通年	・・
府民スポーツ広場	新 みんなで植樹活動	・・・	3
伏見港公園	水辺の見学会	6月・10月	2

(4) 施設貸与事業

京都府から指定管理者として指定を受けた施設の適切な管理運営を行い、利用者に安心・安全で快適な空間と質の高いサービスを提供する。

- ① 新設された陸上競技場夜間照明を活用して利用時間の拡大と平日の利用促進に努め、京都府南部地域の競技力向上と生涯スポーツの推進に取り組む。
- ② 大型物置やロッカー等の拡充やプール未利用期間（10月～4月）の更衣棟（更衣室、温水シャワー、ロッカー）を開放により、利便性の向上に取り組む利用促進を図る。
- ③ プロスポーツ、プロ興行、展示会などについても、スポーツの普及・振興及び経営基盤の安定のため誘致に力を注ぐ。
- ④ 公園ウエディングの誘致など新しいニーズの公園利用を誘致して利用促進を図る。
- ⑤ 全国高校総合体育大会（バスケットボール競技、バドミントン競技）、全日本壮年ソフトボール大会、春季全日本小学生ソフトボール大会などの大規模大会の運営サポートを行う。

(5) 施設運営事業

公園運営において、安心・安全で府民に親しまれる快適な空間を提供できるよう適切な維持管理を進める。

- ① 大規模災害時の物資集積場所や被災時の避難収容場所に指定され、災害時における行政との連携を強化する。
京都府防災訓練・近畿2府7県合同防災訓練開催への連携強化に取り組む。
- ② 安心・安全な施設や施設老朽化に伴う改善・改修について、競技団体や利用者からの意見をまとめ、指定管理者として京都府への提案と協議を進める。
- ③ 公園スタッフは、常に利用者目線に立った対応を心がけ、快適で利用しやすい施設運営に努める。
- ④ 公園施設の課題点の情報共有を進めるため、「公園管理システム」の導入に取り組む。

(6) 広報活動

施設内容や自主活動等の情報をリアルタイムに発信し、利用しやすいホームページを運営など季節に合わせた情報提供を定期的実施する。

また、メールマガジンの配信やホームページの携帯サイト、SNSなどによる情報発信にも取り組む。

(7) モニタリング

利用者満足度を向上させるため、ご意見箱やホームページから幅広く意見を収集する。

- ① 「公園利用者意識調査（満足度調査）」を行い、利用者の要望を具体的に検証しサービスの向上に取り組む。
- ② 公園外において、来園者以外の公園に関する意識調査を実施し、来園者増への対策を検討する。
- ③ 公園の入退場調査を実施し、来園者の動向を調査する。

2. 収益事業

(1) 収 1 事業

駐車場経営、ファミリープール及び各種イベントへ施設を貸与する事業

公益目的事業の充実を図るために、収益事業により安定した経営基盤の確立が不可欠であることから、適切な収益事業を推進する。

1) 収益施設貸与

山城総合運動公園、伏見港公園において、府民にイベントを観覧する機会を提供するとともに、入場料の一部を収益とする。

また、地元関連団体との連携によるフリーマーケットや物産展、空き施設や閑散期の駐車場を活用したイベントと物販を組み合わせた企画などの検討を進める。スクール事業では上級者を対象とするスキルアップスクール等を実施する。

○夏の野外コンサート（山城総合運動公園）

○第2競技場・球技場・陸上競技場等を利用した野外コンサート（京都大作戦）2日間

○**Bjリーグ（山城総合運動公園）体育館 4日間（4試合 12月、2月）**

2) ファミリープールの管理運営

ウォーターボーイズ公演やダブルダッチパフォーマンス&体験、公認50mプール de タイムアタック、KBS 京都ラジオによるサテライト放送などの実施、またプールサイドでのイベントの実施や深い水深を利用してのダイビングやシュノーケルリングの練習会場としての利用促進を図る。

山城総合運動公園 ファミリープール	造波プール 遊泳・トレーニングプール けい流・子供プール ウォーターボブスレー スライダー	
	大人	1日 1,000円
	高校生	1日 700円
	小・中学生	1日 450円
	幼児	1日 100円
・心身障がい者は、50%減免 ・団体割引あり		

3) 駐車場の管理運営

来園者の利便の向上のため駐車場の管理運営を行う。

(山城総合運動公園及び伏見港公園は有料)

山城総合運動公園	収容台数	約 1,300 台
	普通車	1日 400円
	大型車	1日 1,500円
伏見港公園	収容台数	約 200 台
	普通車	300円～(時間制)

※山城総合運動公園

平成 25 年 4 月から送迎等の短時間利用者を対象に、
同一ゲートからの入退場に限り 30 分未満無料

4) ロッカーの管理運営

山城総合運動公園	プール内	2,040 口
	公園内	50 口
	物 置	4 台
	大型ロッカー	4 口
伏見港公園	プール・体育館・テニスコート 120 口	

5) 収益を目的としたスクール、イベント

開催場所	事業名	開催予定時期	回数
山城総合運動公園	ステップアップテニスクラブ	春・秋・冬	27
	夏期短期ステップアップテニスクラブ	7月・8月	5

開催場所	事業名	開催予定時期	回数
山城総合運動公園	重	ジュニアテニスA(火)・(金)	通年 各40
		ジュニアテニスB(育成クラス)(火)・(金)	通年 各40
		ジュニアテニスC(中学生)(火)・(金)	通年 各40
		ジュニアテニスA・B・C(週2回コース)	通年 各80回
	新	ハンナリーズジュニアH1スクール	通年 36
		ハンナリーズジュニアH1スクール	通年 36
		シュノーケル体験	7月 1
		50mプールでタイムアタック	7月・8月 3
		ウォーターボーイズ公演	8月 1
		ダブルダッチイベント	8月 1
		KBS京都放送 プールサイドサテライト放送	8月 1
		フリーマーケット	春・秋 8
伏見港公園		少年少女水泳教室B(月)	春・秋・冬 32
		少年少女水泳教室B(金)	春・秋・冬 32
		少年少女水泳教室C(火)	春・秋・冬 32
		種目別レッスン	通年 32
		エンジョイスイミング	春・秋・冬 32
		水泳記録会	3月 1
		スイムフェスティバル	11月 1
		水泳クリニック	11月 1
		水泳マラソン	通年 ..
	新	京都ハンナリーズスクール スーパージュニアクラス	通年 37
	新	京都ハンナリーズスクール スーパージュニアH1クラス	通年 37
		エンジョイテニス(水-午前)	春・秋・冬 32
		エンジョイテニス(木-夜間)	春・秋 24
		We Love Fushimi ドッチボール大会	12月 1
	新	伏見港マルシェ
	フリーマーケット	... 3	

(2) 収2事業

飲食及び物品販売事業

来園者の利便性向上のためレストランや自動販売機による飲食提供及び物品の販売を行う。

平成27年度は新メニューの提供やテイクアウトの見直し、営業時間の延長、販売カー活用の拡大などを検討、またファーストフードの自販機の設置やスイーツの販売など、利用者ニーズに応えるサービスの提供に取り組む。

レストラン	山城総合運動公園	1ヶ所 150席
売店	山城総合運動公園	テイクアウトコーナー 1ヶ所 臨時売店 繁忙日 臨時対応
プール売店	山城総合運動公園	軽食堂 1ヶ所、売店 2ヶ所 3ヶ所で最大 8,000人対応
自動販売機	山城総合運動公園	自動販売機 52台 自動販売機コーナー 2ヶ所 ・公園センター 自動販売機 7台 休憩所有り ・テニスコート 自動販売機 4台 休憩所有り ・体育館ホワイエ スポーツ用品 自動販売機 1台
	府民スポーツ広場	自動販売機 3台
	伏見港公園	自動販売機 5台 ・自動販売機コーナー1ヶ所 5台 休憩所有り ・ロビー スポーツ用品 自動販売機 1台
弁当販売	山城総合運動公園	レストラン内 数食～20,000食
物品販売	山城総合運動公園	ラインテープ、切手、印紙等

三 会社の組織

組織表



